

令和元年横浜市支部会開催報告

令和元年 8 月 1 日に第 38 回横浜市支部総会を開催いたしました。

28 人の同窓会員が参加し、来賓として本学より小動物内科学研究室、久末正晴准教授の御臨席を賜りました。

総会は鈴木憲太支部長 (S54 卒) の開会挨拶から始まり、有賀誠開業部会長 (S49 卒) の学園報告、評議員活動報告に続いて収支報告・監査報告、代議員総会報告、大学祭への協力について協議を行い、全て原案通り了承されました。また、長年にわたり衛生部会の取りまとめに尽力いただいた黒澤泰理事 (S54 卒) の相談役就任が承認されました。

懇親会では久末先生より、麻布大学および大学附属動物病院で行っている改革について、北井正・元野毛山動物園長 (S31 卒) からは横浜の動物園の変遷についてお話し頂きました。

少子化の影響で運営に困難を伴う私学をどう盛り上げていくのか、同窓会の維持会員を増やすためにどうすれば良いのか？代議員会で決議された同窓会会則改定が横浜にどう影響するのか、など活発な議論が繰り広げられ、最後は成田俊之理事 (H15 年卒) に閉会挨拶を賜り、無事終了いたしました。

全国的にも稀な維持会員数を伸ばし続けている横浜市支部としての誇りを持ちつつ、これに慢心せず同窓会活動を行こうと一致団結した会合でありました。

葉山俊 (H13 卒)

